

平成 19 年度

三番瀬スズガモ、カワウ食性等調査業務

報 告 書

平成 20 年 3 月

千 葉 県

株 式 会 社 セ ル コ

<目 次>

1 . 調査目的	1
2 . 調査内容	1
3 . 調査概要	1
(1) 調査方法	1
1) スズガモ消化管内容物調査.....	1
2) カワウの吐出物および飛翔状況調査.....	1
ア . カワウ吐出物調査.....	1
イ . 飛翔状況調査	1
(2) 調査地点等	1
1) スズガモ消化管内容物調査.....	1
2) カワウ吐出物及び飛翔状況調査.....	2
ア . カワウ吐出物調査.....	2
イ . 飛翔状況調査	2
a . 旧江戸川と中川の合流点 (S t . 1)	3
b . 江戸川 (放水路) 下流 (S t . 2)	3
c . 若洲海浜公園 (S t . 3)	4
d . 猫実川河口 (S t . 4)	4
e . 江戸川 (放水路) 河口 (S t . 5)	5
f . 行徳鳥獣保護区 (S t . 6)	5
4 . 調査時期	6
5 . 調査結果	7
(1) スズガモ消化管内容物調査.....	7
(2) カワウの吐出物調査.....	7
1) カワウの吐出物調査.....	7
2) 飛翔状況調査	10
ア . 旧江戸川と中川の合流点 (S t . 1)	10
イ . 江戸川 (放水路) 下流 (S t . 2)	13
ウ . 若洲海浜公園 (S t . 3)	16
エ . 猫実川河口 (S t . 4)	19
オ . 江戸川 (放水路) 河口 (S t . 5)	22
カ . 行徳鳥獣保護区 (S t . 6)	25
3) 採食場所	27
6 . まとめ	29
(1) カワウ吐出物調査.....	29
(2) 飛翔状況調査	31
7 . 今後の課題	32

1. 調査目的

本業務は、三番瀬及びその周辺に飛翔するスズガモ及びカワウの食性を把握することなどを目的として行った。

2. 調査内容

調査は、以下の2項目について行った。

スズガモ消化管内容物調査

カワウの吐出物調査及び飛翔状況調査

3. 調査概要

(1) 調査方法

各項目の調査方法等は、以下のとおりである。

1) スズガモ消化管内容物調査

スズガモ消化管内容物調査は、三番瀬及び周辺地域において刺し網等により誤って採取され、死亡した個体を船橋、市川及び南行徳の3漁協より採取位置を確認の上、入手する予定であったが、今回の調査時には、各漁協とも採取されず入手できなかった。

なお、検体入手後の手順は、以下のように行う予定であった。

入手した検体は、雌雄及び成鳥・幼鳥の判定、体重、翼長、尾長を測定する。測定後、検体を解剖し、食道・砂嚢（筋胃）を取り出す。取り出した食道及び筋胃から筋胃を切除し、長径、短径を測定後、その内容物を取り出す。取り出した内容物は、10%ホルマリンで固定後、分析に供する。内容物を取り出した筋胃は、その重量を測定する。

内容物の分析は、できる範囲で種の同定、個体数、湿重量の計測を行う。アサリ等の貝類については、個体ごとの殻長の測定を行う。

2) カワウ吐出物調査および飛翔状況調査

ア. カワウ吐出物調査

カワウ吐出物調査については、行徳鳥獣保護区内のカワウ集団営巣地において、巣の下等に吐き出された吐出物を採集し、計測を行った。計測は、完全な状態で採集できた魚類については、魚種の同定、体長及び湿重量を計測を可能な範囲で行った。また、消化により、欠損のある個体については、残された部位から魚種の同定を行い、残存部分の長さや湿重量を計測した。

イ. 飛翔状況調査

カワウが採食を行っている場所を推定するため、早朝3時間程度、三番瀬及び周辺の採食場所となっていると考えられる場所においてカワウの個体数、採食の状況及び飛翔方向を記録した。

(2) 調査地点等

1) スズガモ消化管内容物調査

スズガモ消化管内容物調査については、三番瀬全域を対象に行った。

2) カワウ吐出物及び飛翔状況調査

ア. カワウ吐出物調査

カワウの吐出物については、図 3-2-1 に示すとおり、行徳鳥獣保護区内にあるカワウのコロニー内を対象に行い、図 3-2-1 の拡大図に示した地点において吐出物を採集した。

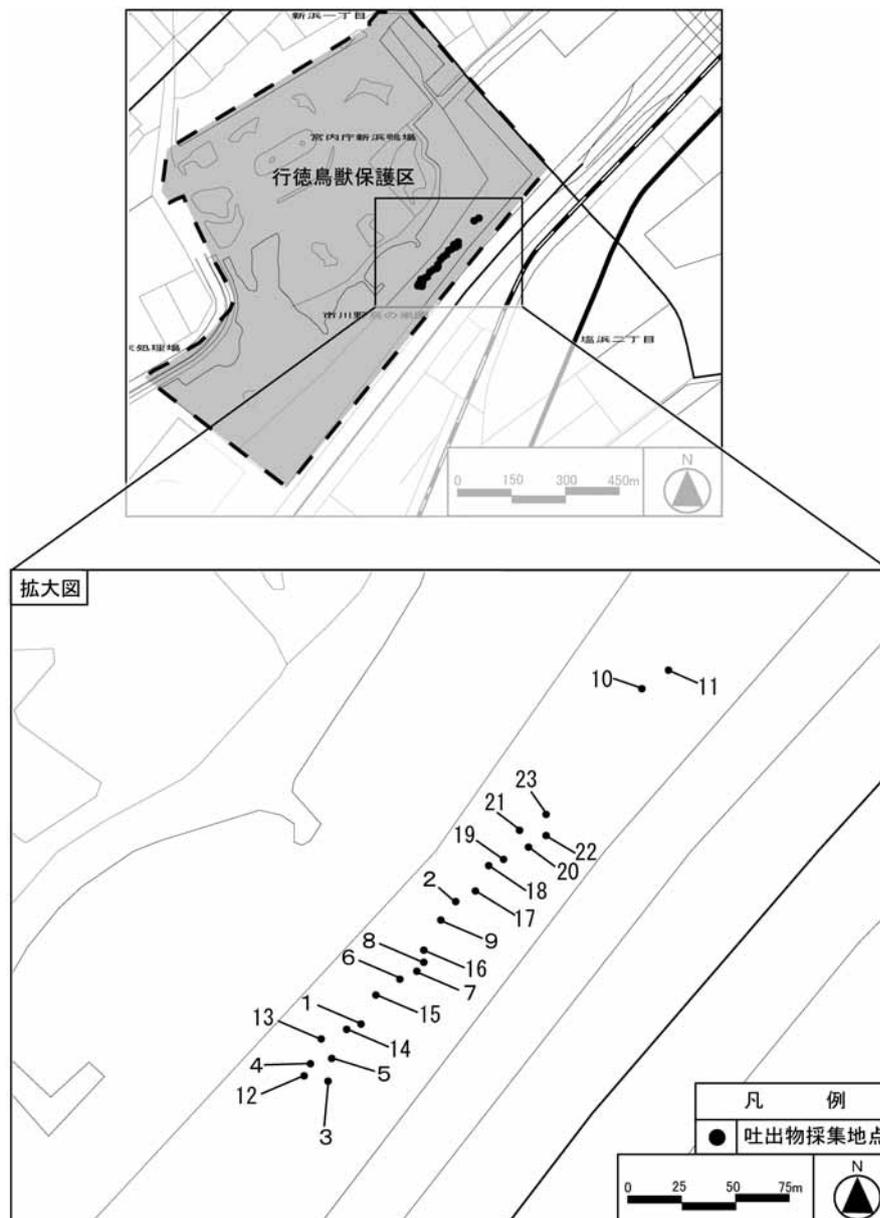


図 3-2-1 カワウの吐出物採集場所

イ. 飛翔状況調査

飛翔状況については、図 3-2-2 に示すとおり、三番瀬及び葛西臨海公園周辺の海域を対象に 5 地点及びコロニーからの出入りの状況を確認するために行徳鳥獣保護区内に 1 地点の 6 地点の定点観察地点を設定した。

なお、行徳鳥獣保護区内の地点は、3月上旬及び中旬の 2 回調査を行った。

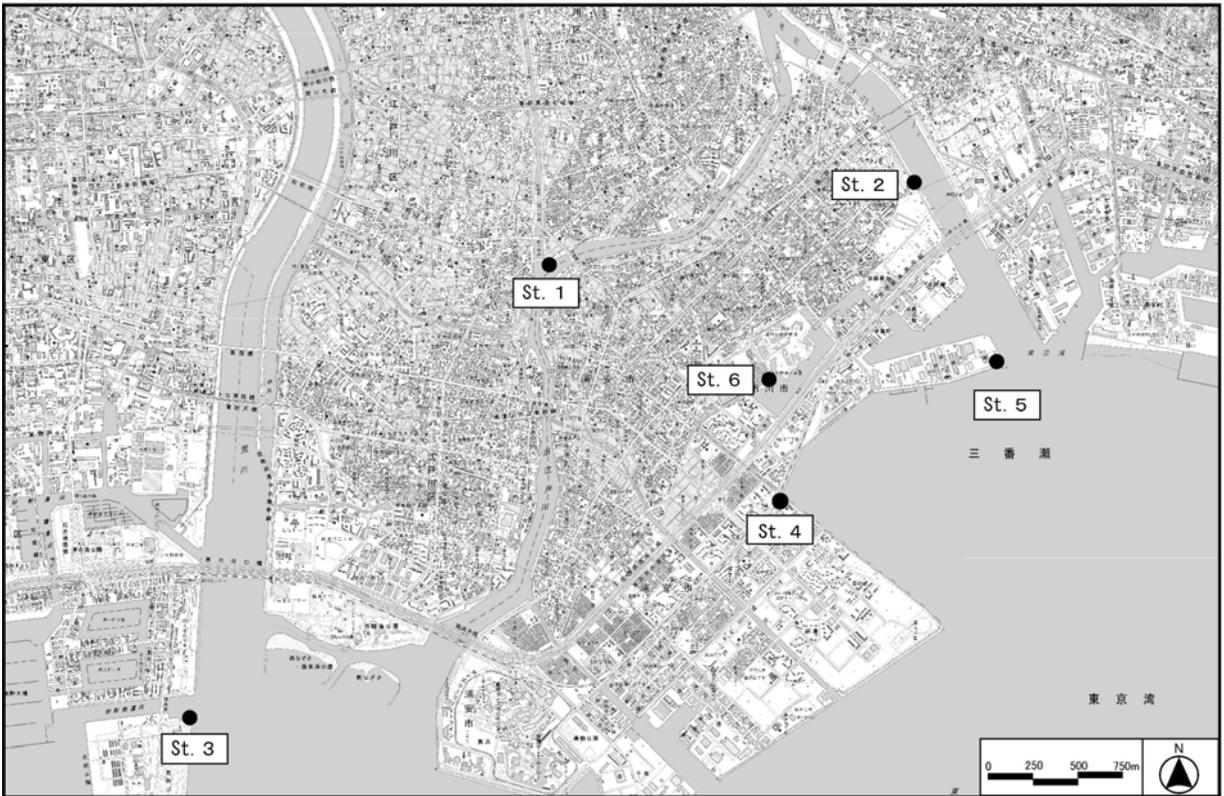


図 3-2-2 定点観察調査地点

各調査地点の状況は、以下に述べるとおりである。

a . 旧江戸川と中川合流点 (St.1)

St.1 は、旧江戸川と中川の合流点に設置した地点である。

川幅は約 150m である。両岸は、垂直護岸となっており、水面には、杭等のカワウの休息できる場所が一部にある。



右岸側



左岸側

写真 - 1 St.1 からの景観

b . 江戸川 (放水路) 下流域 (St.2)

St.2 は、江戸川 (放水路) 下流域に設置した地点である。

川幅は約 200m である。両岸とも河川敷があり、人が利用できるようになっている。また、水面には、カワウが休息できる杭がある。



上流側

下流側

写真 - 2 St. 2 からの景観

c . 若洲海浜公園 (St. 3)

St. 3 は、若洲海浜公園の入り口付近に設定した地点である。

東側には葛西臨海公園の東西のなぎさが確認できる地点である。



陸側

海側

写真 - 3 St. 3 からの景観

d . 猫実川河口 (St. 4)

St. 4 は、猫実川の河口付近に設定した地点である。

地点前方の海側は、垂直護岸となっており、干潟等の確認はできなかった。



陸側

海側

写真 - 4 St. 4 からの景観